

第10期末 (2022年8月22日)	
基準価額	7,697円
純資産総額	5,365百万円
第10期 (2021年8月21日~2022年8月22日)	
騰落率(分配金再投資後)	△3.9%
分配金合計	0円

交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧およびダウンロードいただけます。

なお、運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせ下さい。

閲覧方法: 下記照会先ホームページから公募投資信託を選択、該当ファンド名称を選択し、右上の「運用報告書(全体版)」を選択

<ファンドに関する照会先>

営業部

電話番号 03(4530)7333

お問い合わせ時間 (営業日) 9:00~17:00

ホームページアドレス www.ssga.com/jp

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

〒105-6325 東京都港区虎ノ門一丁目23番1号 虎ノ門ヒルズ森タワー25階

交付運用報告書

ステートストリート・ゴールドファンド (為替ヘッジあり)

追加型投信/海外/その他資産(商品)

第10期運用報告書

(決算日 2022年8月22日)

作成対象期間(2021年8月21日~2022年8月22日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申しあげます。

この度、「ステートストリート・ゴールドファンド(為替ヘッジあり)」は、2022年8月22日に第10期の決算を行いましたので、運用状況をご報告させていただきます。

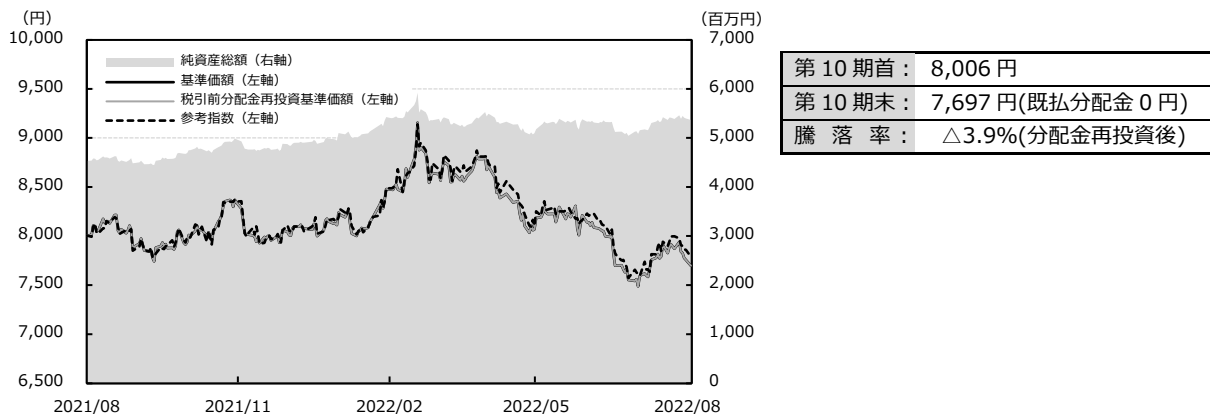
当ファンドは金現物拠出型上場外国信託「SPDR(スパイダー)[®] ゴールド・シェア(正式名称: SPDR[®] Gold Shares)」を主たる投資対象とし、また原則として為替ヘッジを行うことにより、金地金価格を示す「LBMA午後金価格(正式名称: LBMA Gold Price PM)(1トロイオンス当たり/米ドルベース)」の円ヘッジベースの動向を反映する投資成果を目指して運用を行いました。

今後とも、ご愛顧のほどよろしくお願い申しあげます。

● 運用経過の説明

基準価額等の推移

作成対象期間(2021年8月21日～2022年8月22日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドの参考指数は「LBMA 午後金価格 (1トロイオンス当たり/米ドルベース)」の円ヘッジベースで、LBMA 午後金価格 (1トロイオンス当たり/米ドルベース) について、前期末の基準価額にあわせて指数化したものです。

基準価額の主な変動要因

参考指数(「LBMA午後金価格(1トロイオンス当たり/米ドルベース)」の円ヘッジベース)の動きをほぼ反映して、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境」をご参照ください。

1万口(元本 10,000 円)当たりの費用明細

項 目	当 期 (2021年8月21日~2022年8月22日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
平均基準価額	8,125円	-	期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬	40円	0.498%	(a)信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 消費税は報告日の税率を採用しています。
(投 信 会 社)	(9)	(0.111)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(29)	(0.354)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内での ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の 対価
(b) 売買委託手数料	0	0.002	(b)売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中 の平均受益権口数
(受益証券発行信託の受益証券)	(0)	(0.002)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売 買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c)有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中 の平均受益権口数
(受益証券発行信託の受益証券)	(0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生 する取引に関する税金
(d) その他費用	2	0.021	(d)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受 益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.010)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払 う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の 移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.011)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの 監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	・その他は、金銭信託手数料及び LEI 支払手数料
合 計	42円	0.521%	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含みます)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含みます)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、各項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

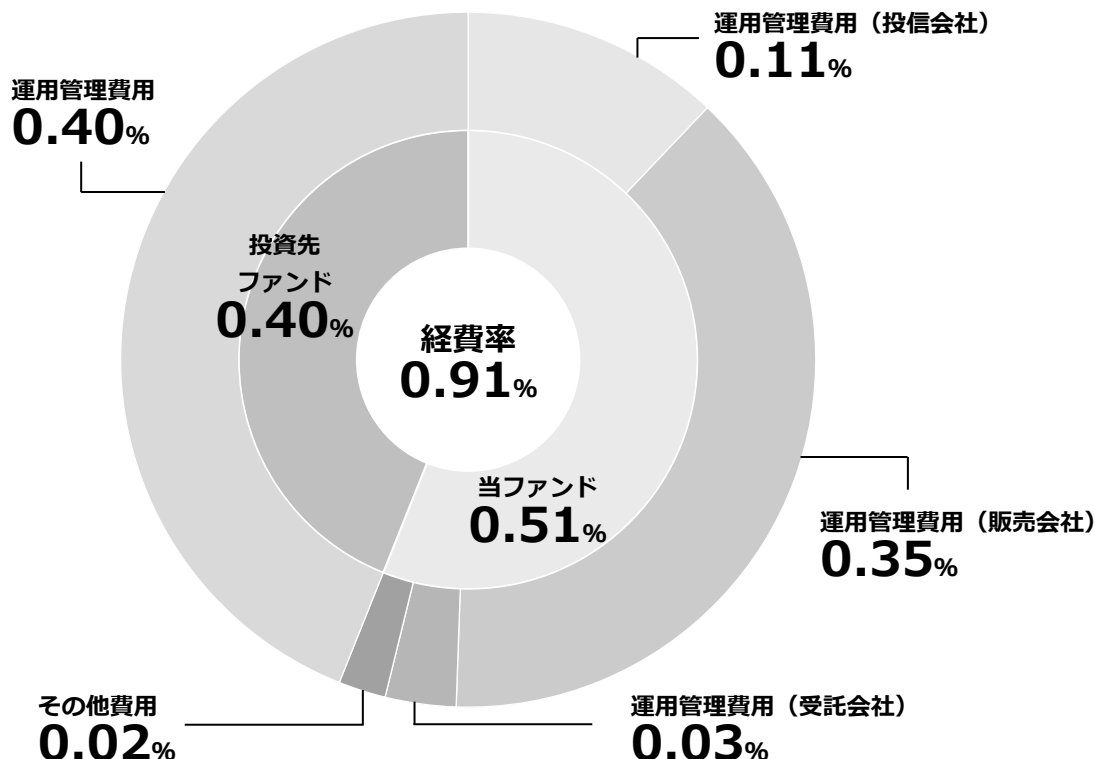
(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○経費率(投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。)

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した**経費率(年率)は0.91%です。**



経費率 (①+②)	0.91%
①当ファンドの費用の比率	0.51%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.40%

(注1) 当ファンドの費用は1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

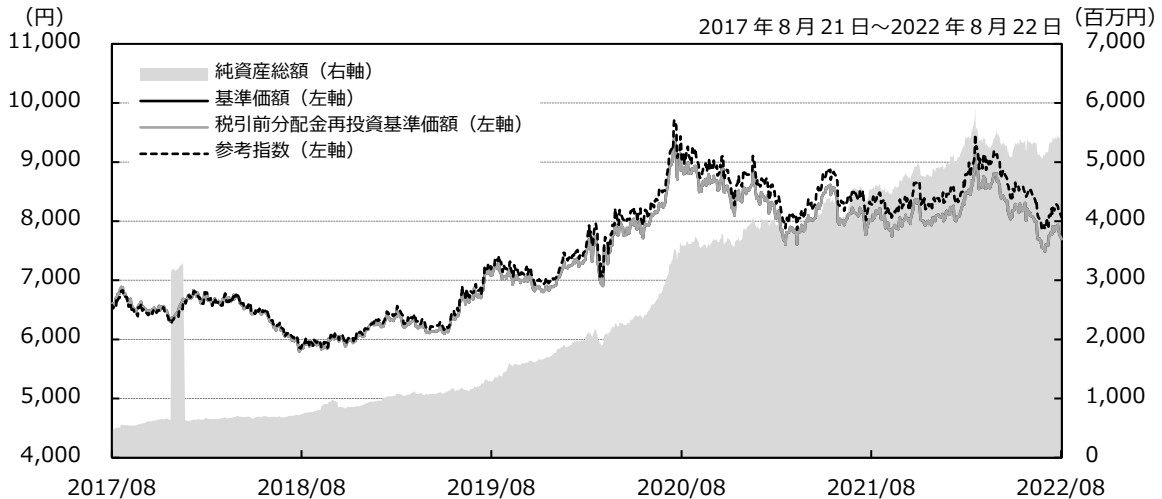
(注5) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドの参考指数は「LBMA 午後金価格 (1トロイオンス当たり/米ドルベース)」の円ヘッジベースで、LBMA 午後金価格 (1トロイオンス当たり/米ドルベース) について、2017年8月21日の値が基準価額と同一となるよう指数化したものです。

決算日	2017年8月21日	2018年8月20日	2019年8月20日	2020年8月20日	2021年8月20日	2022年8月22日
基準価額(円)	6,584	5,851	7,077	8,857	8,006	7,697
期間分配金合計(税込み)	0	0	0	0	0	0
騰落率(%)	△7.3	△11.1	21.0	25.2	△9.6	△3.9
参考指数騰落率(%)	△6.3	△11.2	22.9	29.4	△10.9	△2.7
純資産総額(百万円)	479	731	1,283	3,560	4,532	5,365

(注) 純資産総額の単位未満は切り捨てています。

投資環境

【金価格市況】

当期の世界の金融市場では、世界的なインフレ圧力への対応に伴う各国中央銀行の金融引き締めにより景気減速に対する懸念が高まる中、世界的に株式市場が下落しました。債券市場でも、インフレ圧力懸念を受けて、各国中央銀行が金融引き締めを実施したことを背景に世界的に利回りが大幅に上昇しました。但し、日本では強固な長期金利管理政策を背景に金利の動きは抑制されました。

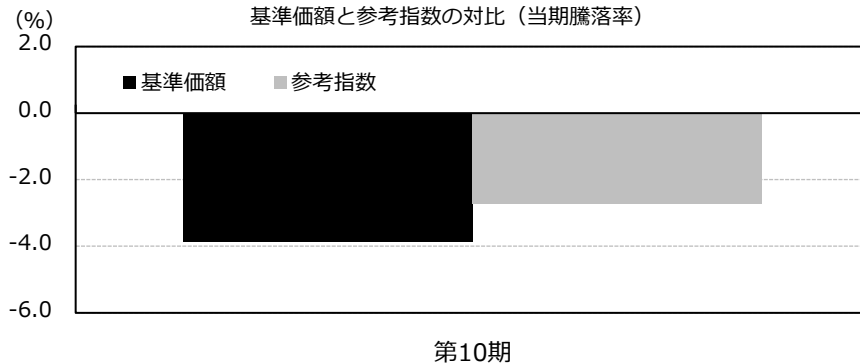
このような環境下で、金価格は下落しました。米国の金融引き締め加速を受けて米ドルが相対的に上昇したことで、世界の基軸通貨である米ドルの代替として位置づけられる金の価値が減少しました。

当該投資信託のポートフォリオ

当ファンド	当ファンドは、金現物拋出型上場外国信託「SPDR [®] ゴールド・シェア」への投資を高位に保つ運用を行い、また短期資金運用の一環として安定した投資成果の獲得を目指す「短期国債マザーファンド」受益証券への投資を低位に維持しました。
SPDR [®] ゴールド・シェア	当ETFは、特定保管された金を主な資産として保有する金現物拋出型上場投資信託です。本信託の資産は、特定金地金および計上された金の未収入金および適宜費用の支払いに充当される現金によってのみ構成され、経費控除後での金地金の価値(LBMA午後金価格)への連動を目指して運用を行いました。
短期国債マザーファンド	当マザーファンドは、主として国債を中心に日本の短期公社債等に投資を行い、安定した投資成果の獲得をめざして運用を行いました。マザーファンドの組入銘柄につきましては、市場の流動性と利回りを勘案しながら短期国庫証券の購入に努めました。

当該投資信託のベンチマークとの差異

基準価額の騰落率は-3.9%となり、参考指数の騰落率(-2.7%)を1.2%下回りました。主な投資対象である外国投資信託の信託管理報酬等を含む実質的な信託報酬の影響など不可避免的な要因を控除すると、基準価額は参考指数と概ね同等の投資成果を安定的に獲得できたと考えています。



分配金

当期の収益分配金は基準価額の水準、市況動向などを勘案した結果、見送りとしております。また収益分配に充てず信託財産に留保した収益は、特に制限を設けず、元本部分と同様の運用を行う方針です。

■ 分配原資の内訳 (1万口当たり・税込み)

項目	第10期 (2021年8月21日～ 2022年8月22日)
当期分配金	-円
(対基準価額比率)	-%
当期の収益	-円
当期の収益以外	-円
翌期繰越分配対象額	2,294円

- (注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- (注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

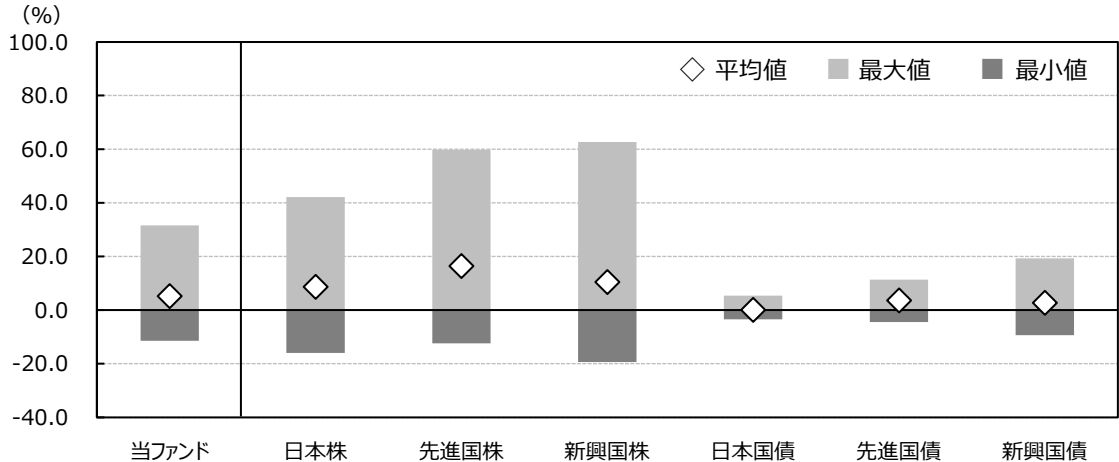
● 今後の運用方針

今後も引き続き、短期資金運用の一環として安定した投資成果の獲得を目指す親投資信託「短期国債マザーファンド」受益証券への投資を低位に維持しながら、主として金現物拋出型上場外国信託「SPDR®ゴールド・シェア」への投資を行うと共に、その投資金額相当額の米ドルについて原則として為替ヘッジを行うことにより、金地金価格を示す「LBMA 午後金価格(1トロイオンス当たり/米ドルベース)」の円ヘッジベースの動向を反映する投資成果を目指します。

● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（商品）	
信託期間	無期限	
運用方針	<p>・ 主として金現物拋出型上場外国信託「SPDR（スパイダー）[®] ゴールド・シェア※1」への投資を行うと共に、その投資金額相当額の米ドルについて原則として為替ヘッジを行うことにより、金地金価格を示す「LBMA午後金価格（1トロイオンス当たり／米ドルベース）※2」の円ヘッジベースの動向を反映する投資成果の獲得を目指します。</p> <p>※1 正式名称： SPDR[®] Gold Shares ※2 正式名称：「LBMA Gold Price PM」（ICEベンチマーク・アドミニストレーション(ICE Benchmark Administration)が、午後決め値として公表する、1トロイオンス当りの米ドル建ての金価格) LBMAは、ロンドン貴金属市場協会(London Bullion Market Association)の略称</p>	
主要運用対象	SPDR（スパイダー） [®] ゴールド・シェア	金地金等
	短期国債マザーファンド	日本の短期公社債等
運用方法	<p>・ 金現物拋出型上場外国信託およびマザーファンドへ投資し、その割合には制限を設けません。</p> <p>・ 株式への投資は、転換社債の転換請求および新株予約権の行使により取得可能なものに限る、実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>・ 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</p>	
分配方針	<p>毎決算時に、原則として次の通り収益分配を行う方針です。</p> <p>①分配対象額の範囲 分配対象額は、経費控除後の利息・配当収入および売買益（評価益を含みます）等の範囲内とします。</p> <p>②分配方針 分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象金額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。</p> <p>③留保益の運用方針 収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	5.2	8.7	16.5	10.5	0.1	3.6	2.7
最大値	31.5	42.1	59.8	62.7	5.4	11.4	19.3
最小値	-11.5	-16.0	-12.4	-19.4	-3.5	-4.5	-9.4

- * 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- * 5年間(2017年8月~2022年7月)の各月末における年間騰落率の平均・最大・最小を表示したものです。
- * 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
- * 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
- * 当ファンドの年間騰落率(毎月末時点)は、毎月末とその1年前における基準価額を対比して、その騰落率を算出したものです。

* 代表的な資産クラスを表す指数

- 日本株 …………… 東証株価指数(TOPIX)(配当込み)
- 先進国株 …………… MSCI コクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)
- 新興国株 …………… MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)
- 日本国債 …………… NOMURA-BPI 国債
- 先進国債 …………… FTSE 世界国債インデックス(除く日本・円ベース)
- 新興国債 …………… JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースィファイド(円ベース)

※各指数の詳細は、「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数についてをご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

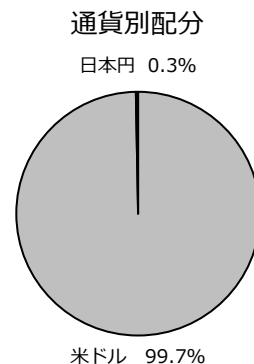
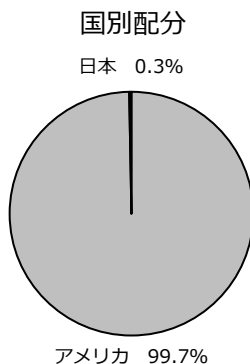
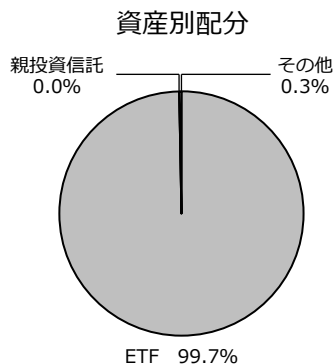
● 当該投資信託のデータ

当該投資信託の組入資産の内容

組入(上位)ファンド(銘柄)

	第10期末 2022年8月22日
SPDR [®] ゴールド・シェア	99.7%
短期国債マザーファンド	0.0%
その他	0.3%
組入銘柄数	2銘柄

(注) 組入比率は、純資産総額に対する外国投資信託証券およびマザーファンドの評価額の割合です。



(注1) 資産別、通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注2) 未収・未払等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

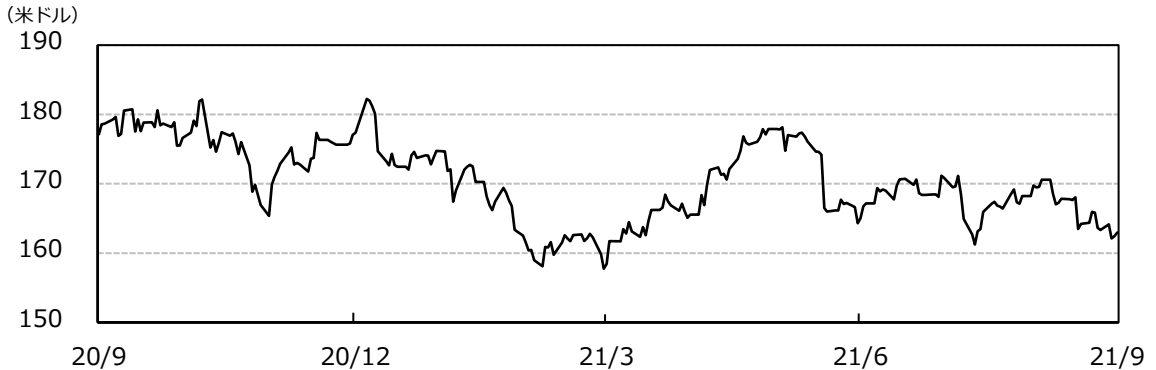
純資産等

項目	第10期末 2022年8月22日
純資産総額	5,365,402,327円
受益権総口数	6,970,684,404口
1万口当たり基準価額	7,697円

(注) 当期中における追加設定元本額は4,521,688,272円、同解約元本額は3,212,150,534円です。

組入上位ファンド(銘柄)の概要

◇ SPDR[®]ゴールド・シェア



組入銘柄

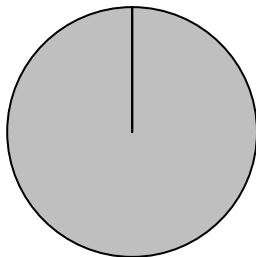
※対純資産総額

資 産	投 資 国	通 貨	比 率
金	英国	USD	100.0%
現金その他	-	USD	0.0%

1 万口当たりの費用明細

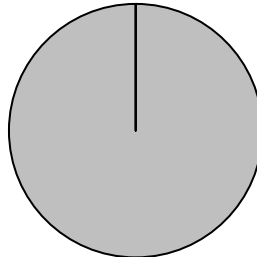
1万口当たりの費用明細については、開示されていないため記載しておりません。なお、費用の総額については、運用報告書(全体版)の「損益および純資産変動計算書(要約)」に記載しています。

資産別配分



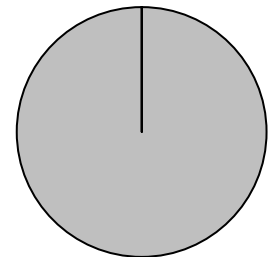
金 100.0%

国別配分



英国 100.0%

通貨別配分



米ドル 100.0%

(注1) 基準価額の推移、組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2021年9月30日現在のものです。

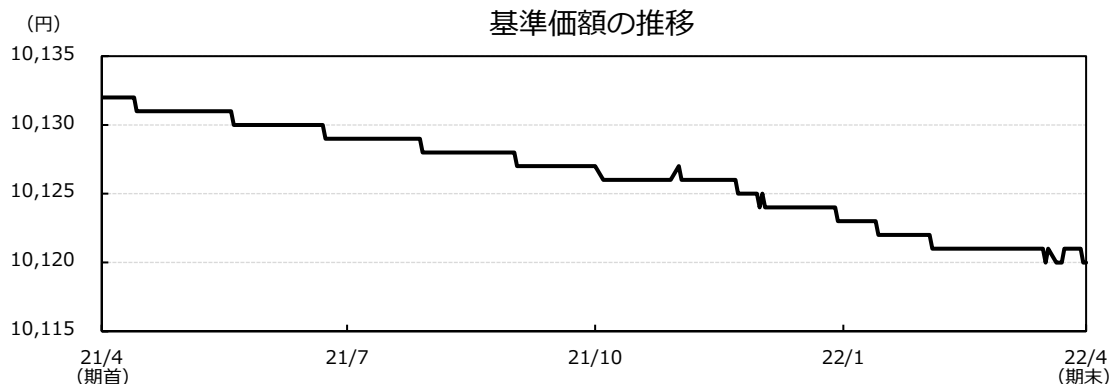
(注2) 資産別、通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 未収・未払等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

※組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されております。

組入上位ファンド(銘柄)の概要

◇短期国債マザーファンド



組入銘柄

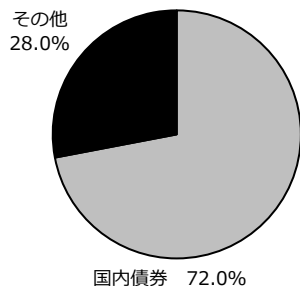
※対債券時価総額

	銘柄名	利率	償還日	比率
1	第1023回 国庫短期証券	0.000%	2022/9/20	38.5%
2	第1016回 国庫短期証券	0.000%	2022/8/22	23.1%
3	第1066回 国庫短期証券	0.000%	2023/3/20	19.2%
4	第1052回 国庫短期証券	0.000%	2023/1/20	19.2%
組入銘柄数				4銘柄

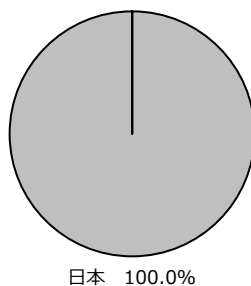
1万口当たりの費用明細

項目	当期 (2021年4月16日～ 2022年4月15日)
(a) その他費用 (その他)	0円 (0)
合計	0円

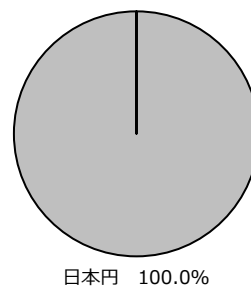
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2022年4月15日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は当該マザーファンドの直近の決算期のものです。費用項目については、2ページの注記をご参照ください。

(注3) 資産別、通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注4) 未収・未払等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

※組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されております。

●「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIX に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 JPX 総研または株式会社 JPX 総研の関連会社に帰属します。

■ MSCI コクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)

MSCI コクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ NOMURA – BPI 国債

NOMURA – BPI 国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、同指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

■ FTSE 世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

FTSE 世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。

■ JP モルガン GBI – EM グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

JP モルガン GBI – EM グローバル・ディバーシファイド(円ベース)は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。